

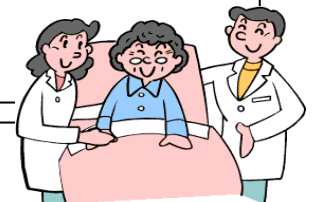
平成22年2月28日(日)に第35回 広島県病院学会が行われ、
当院も参加いたしました。 延べ48病院が参加し、「優秀賞」
をいただく事ができました。

テーマ「遷延性意障害患者に対する生活再構築への援助～聴覚刺激を試みて～」について



3階病棟 錦織看護師

このような名誉な賞をいただけたのも、3階病棟のみなさんの協力と諸先生方のご指導あつてのことです。私自身としましては、看護研究発表という舞台を経験する事ができ、自分の力になっていく機会を与えて下さった事に感謝しています。これからも継続していけるように努力したいと思います。ありがとうございました。



3階病棟 甲斐師長

当病棟に入院されている患者様はベッド上での生活が多く、環境面をふまえて患者様の生活リズムを整えていくことが重要であると考えました。

この看護研究は、2年前より始め、平成13年1月に蘇生後脳症となられた患者様に生活再構築への援助として、聴覚刺激を試みました。食堂での他患者様との体操、発声練習の時間に参加し、背面開放座位をとることにより、頭部後屈が自力保持可能となりました。そして、座位を毎日続けることで表情が穏やかになり、視線を左右に動かすなどの反応もありました。

私たちの援助をみて、家族から「もっと反応が出て欲しい」と、ゆかりのある音楽CDを持ってきたり、家族側からも協力的な関わりの変化がありました。

「その人がその人らしく生きていく道」を再構築していけるように援助していく事の必要性が示唆されました。スタッフが一致団結をして、背もたれを作成したり、研究に取り組むことが出来たと思います。

今後も「目覚め」への援助が継続的にできるよう努力していきたいと思います。